

日本原子力学会核燃料部会
第26回核燃料部会総会議事録

日時 :平成18年3月26日(日) 12:30~12:55
場所 :JAEA大洗研究開発センター F-Cerveaux5階 控室1
出席者 :約30名

1. 活動報告

若松庶務幹事により、下記内容にて平成17年度の活動報告がなされた。

1-1. 総会

平成17年9月14日(水) 於、八戸工業大学キャンパス
平成18年3月26日(日) 於、日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター

1-2. 運営委員会 :

平成17年5月24日(火) 平成17年度第1回
平成17年7月7日(木) 平成17年度第2回
平成17年9月14日(水) 平成17年度第3回
平成17年12月1日(木) 平成17年度第4回
平成18年3月25日(土) 平成17年度第5回

1-3. 部会企画セッションプログラム

- ・秋の大会時: (八戸工業大学 平成17年9月14日 13:00~14:00)
『トリウム燃料サイクルの世界における研究動向』
(東大名誉教授)山脇道夫殿、(京大)山名 元殿、(京大)宇根崎博信殿
- ・春の年会時:
核分裂炉・核融合炉燃料材料に関する日韓セミナー
核融合工学部会、核燃料部会、材料部会 3部会合同セッション
(日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター 平成18年3月25日 13:00~17:45)
『Fabrication and Properties of Minor Actinide Containing Mixed Oxide Fuel』
(JAEA)逢坂正彦殿
『Development of Non-oxide(Nitride and Metal) Fuels for Future Applications』
(JAEA)荒井康夫殿、(CRIEPI)横尾健殿
(山脇部会長より、セッション内容について補足説明があった。)

1-4. 研究専門委員会の立ち上げ

- ・『核燃料技術基盤の高度化』研究専門委員会
[主査](JAEA)石島清見殿
[設置期間]平成17年6月1日 ~ 平成19年3月
(更田委員より、第一回目の委員会を平成18年4月25日に行なうこと、およびPWR燃料用改良被覆管材「J合金」の開発をテーマとして取り上げることの補足説明があった。)
- ・『先進的原子カシステムにおける燃料・材料』研究専門委員会
[主査](JNES)山脇道夫殿
[設置期間(予定)]平成18年4月1日 ~ 平成20年3月31日
(山脇部会長より、材料部会と核燃料部会が合同で立ち上げること、および5月の理事会で承認されれば速やかに立ち上げることの補足説明があった。)

1-5. 講演会

平成17年9月30日(於:丸ビルコンファレンススクエアRoom2)
Prof. Olander “Research of hydride fuel as replacement for oxides in LWRs”, 他
主催:「原子力分野における水素化物の利用」研究専門委員会
共催:日本原子力学会、核燃料部会、材料部会

1-6. 国際会議

『2005 Water Reactor Fuel Performance Meeting』(日、韓、中、欧、米 原子力学会共催)
平成17年10月2日~6日 (於:京都テルサ)

1-7. 第一回日韓夏期セミナー

平成17年8月1-3日 韓国釜山 東義大学にて
(山本副部会長より、参加者が日本側98人(内、学生48人)、韓国側83人(内、学生43人)であったこと、また、活発な討議も行なわれ非常に有意義なセミナーであったことの補足説明があった。)

1-8. 部会報

第41-1号(平成17年9月)、第41-2号(平成18年1月)を発行

1-9. 部会員数

390名

2. 今後の活動計画

若松庶務幹事より、今後の活動計画について下記報告があった。

- (1) 会報 : 第42-1号(平成18年9月頃発行)、第42-2号(平成19年1月頃発行)
- (2) 第22回夏期セミナー : 平成18年7月13日(木)~15日(土) 熊本県阿蘇
- (3) 第27回総会 : 平成18年秋の大会時 (平成18年9月予定/於、北海道大学)
- (4) 運営委員会 : 年5回開催予定 ・平成18年度第1回運営委員会(平成18年5月予定)

- ・第22回夏期セミナーについて、山脇部会長より次の補足説明があった。
- ・材料部会と連続した日程で同一場所で行なうことになっており、両部会合同懇親会および共通セッションを計画している。
- ・また、外国からの講演者を招待することになっており、ハルデン、フランスからの招待は確定している。
- ・それに加えて、日印の原子力分野での交流を促進することを目的として、インドからも来てもらうように調整中である。
- ・皆さんにも多く参加していただきたい。

3. 運営委員

若松庶務幹事より、運営委員の変更および平成18年度担当委員の紹介がなされた。

3-1. 第25回総会以降の運営委員交代

- ・委員退任: 旧JNC/木原義之氏(H17年9月末)
- ・新任委員: 中部電力/野田宏氏(H17年度第4回運営委員会後より)
- ・委員交替: JNES/林洋氏→JNES/緒方憲造氏へ(H18年1月1日付け)
四電/大沢雄二氏→四電/今村康博氏へ(H18年3月1日付け)

3-2. 平成18年度業務担当

担当		平成18年度担当者
広報 ホームページ 部会報		[名大] 松井委員
		[原燃工] 来山委員
		[三菱マテリアル] 磯部委員
国際活動		山本副部会長、[電中研] 木下委員、[JAEA] 更田委員
国内企画（横断活動、年会時企画）		[北大] 佐藤委員、[JNES] 緒方委員
庶務幹事（財務含む）		[東大] 寺井委員、[中部電力] 野田委員
夏期セミナー幹事		[阪大] 山中委員、[JNFL] 米田委員
部会代表	部会等運営委員	山本副部会長
	評議員	山本副部会長、[東大]岩田委員

3-3. 部会長交代

山脇部会長より部会長交代についての説明がなされた。

- ・既に部会長を2期務めたことから、部会長交代を昨日の運営委員会に提案した。協議の結果、東大/岩田先生に次期部会長に就任していただくことになった。なお、2006年度のTop Fuelまでは部会長として職務を続け、2006年11月1日付で岩田先生が部会長に就任することになった。

3. 核燃料部会 平成17年度決算及び平成18年度予算

平成17年度決算及び平成18年度予算について、若松庶務幹事より報告があった。

- ・平成17年度末での収入実績予想 3,253,392円、支出実績予想 461,190円、繰越金予想2,792,202円である。収入が大幅に増加したのは、2005年WRFPMの剰余金が核燃料部会に寄付されたことによる。平成18年度予算については、学会からの指示もあり321,000円と平成17年度予算よりも収入減となる。
- ・支出については、2005年WRFPMの英文論文集発行のために1,890,000円の支出を計上しており、合計で2,300,900円の支出となる。従って、年度収支は▲1,979,900円のマイナスとなるが、平成17年度末繰越金にてまかなう。平成18年度末繰越金は1,323,635円となる予定である。

		平成17年度予算・実績予想			平成18年度予算		
		予算	実績予想	備考	予算	実績予想	備考
収入	配付金	277,000	277,000	学会連絡	258,000	-	学会連絡
	会費	-	-		-	-	
	寄付金・賛助金	-	100,000	(原研)永瀬様、更田様	-	-	
		-	2,745,806	WRFPM剰余金の寄付	-	-	
	セミナーテキスト 売上	-	10,640		-	-	
	セミナー残金	70,000	119,946	H17年度夏期セミナー	63,000	-	H18年度夏期セミナー
合計	347,000	3,253,392	予実差 2,906,392	321,000	-	予実差	

		平成17年度予算・実績予想			平成18年度予算		
		予算	実績予想	備考	予算	実績予想	備考
支出	会議費	-	-		-	-	

通信費、発送費	74,000	74,000	会報発行は2回/年。 夏版は電子ファイル又は 簡易装丁で配送。	66,600	—	会報発行は2回/年。 夏版は電子ファイル又は 簡易装丁での配送を 予定。
会報印刷費	180,000	155,190		162,000	—	
ニュース印刷費	—	—		—	—	
雑印刷費	—	—		—	—	
セミナー補助金	—	—		—	—	
会員事務管理費	60,000	60,000	学会連絡	77,000	—	学会連絡
講師謝礼、旅費	117,000	117,000	講師への謝金と旅費	105,300	—	講師への謝金と旅費
記念品作成費等	—	—		—	—	
その他	—	30,000	日韓サマースクール補助 金	—	—	
		25,000	秋の大会資料作成費			
英文誌特集号発行	—	—		1,890,000	—	05WRPMPM論文集
合計	431,000	461,190	予実差 30,190	2,300,900	—	予実差
収支差額	▲ 84,000	2,792,202	予実差 2,876,202	▲1,979,900	—	予実差
年度末繰越金	427,323	3,303,525	予実差 2,876,202	1,323,625	—	予実差

以 上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)